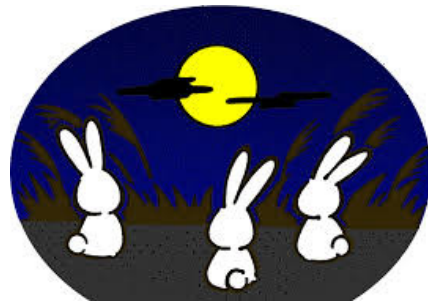


せったん

第171号 2017年9月15日

発行 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階
TEL078-393-1801 FAX 078-393-1802

北摂・丹波支部ニュース



第29回支部総会 感想文

お金の流れの正確な把握で 無駄のない経営へ

三田市・歯科 田中希代子

北摂・丹波支部は7月29日、三田市・キッピーモールで第29回支部総会を開催。2016年度活動報告と17年度活動方針を承認し、森下順彦支部長ら支部役員の改選を行った。記念講演では協会税務講師団の大垣恵美税理士が「医療機関での節税と経営」経営と節税は合理的?」と題し記念講演を行い、会員ら11人が参加した。田中希代子先生の感想を紹介する。(左に活動方針、支部役員一覧を掲載)

大学で医学の知識や技術しか学んでこなかった私達にとって「経営」というのは大変苦手な分野である。また、医療界には「医は仁術なり」という建前があり、利益を獲得したいという気持ちとをあからさまに前面に出すことが難しいため、ますます学習が遅れてしまう気がする。しかしながら、



大垣税理士が講師を務め、会場から多くの質問が出された

患者さんにより良い医療を提供するために経営の安定が不可欠なのは言うまでもない。今回は、医院の収支を把握するコツから節税対策とその効果についてご講義いただいた。

節税については、お金のかかる節税とお金のかからない節税について解説していただいたが、最近はお金のかからない節税というのがほとんどないため、医院にとって本当に有益な投資をしなければ、単なる無駄遣いになってしまうと言われていた。このことはしっかりと肝に銘じておく必要

があるだろう。

また、万が一に備えた保険についての話も伺った。保険は過不足なく加入する必要があるが、自分の年齢や子供の成長等、家族の状況の変化に応じて内容を見直し、入りすぎによる無駄な保険金が発生しないよう注意する必要があるとのこと。私も一度見直してみようと思った。

ご講演全体を通して感じたことは、やはりお金の流れをしっかりと把握することが大切だということだ。+貸借対照表と損益計算書を見れるようになるのが理想的だが、せめて通帳だけでもチェックした方が良かった。そうすれば、早めに医院の問題点が把握でき、より無駄のない経営へつながるだろう。

兵庫県保険医協会 北摂・丹波支部 2017年度活動方針

- 1、会員のニーズに応じたテーマでの研究会・会員懇談会を開催する。
- 2、職員接遇研修会を開催する。
- 3、医療安全管理対策研究会を開催する。
- 4、市民公開企画を行う。
- 5、家族・職員も一緒に楽しめる文化企画やレクリエーションを企画する。
- 6、「篠山市の医療をよくする会」の幹事会に出席し、地域での医療・介護改善の活動に協力して取り組む。そのほか、三田市・丹波市でも他団体等との連携を進める。
- 7、幹事会を毎月開催し、医療情勢や支部行事等について論議を深める。
- 8、医科・歯科ともに未入会医療機関に対して支部企画への案内等働きかけを強めるとともに、勤務医対策もすすめる。
- 9、ニュースを定期発行し内容の充実に努める。

兵庫県保険医協会北摂・丹波支部役員(敬称略) 2017年～18年度

- 【支部長】 森下 順彦(三田市)
【副支部長】 武中 睦美(三田市) 安部 治郎(三田市) 中西 透(三田市・歯科)
【支部幹事】 武本 淑子(三田市) 廣瀬 智(三田市) 木村 忠史(三田市)
福島 久徳(三田市) 佐埜 勇(三田市) 大槻 栄人(三田市・歯科)
岡本 晴夫(三田市・歯科) 小寺 修(三田市・歯科)
福田 隆光(三田市・歯科) 杉本 健郎(篠山市) 多幡 秀隆(篠山市・歯科)
増田 耕一(篠山市・歯科) 宮崎 直之(丹波市) 水野 良司(丹波市・歯科)
【支部顧問】 高見 啓二(丹波市)

兵庫県保険医協会役員(敬称略) 2017～18年度

- 【理事】 森下 順彦 中西 透
【評議員】 安部 治郎 武本 淑子
大槻 栄人 小寺 修 福田 隆光 水野 良司
【予備評議員】 福島 久徳

参加費無料

兵庫県保険医協会北摂・丹波支部

市民公開企画

映画「この世界の片隅に」上映会



日 時／10 月 15 日 (日) 14 時 30 分～17 時頃 (14 時開場)

会 場／三田市総合福祉保健センター多目的ホール

(三田市川除 675 番地 TEL079-559-5700)

参加費／無料 (どなたでもご参加できます。定員 300 人)

患者さまやお知り合いの方など、
お誘い合わせの上でどうぞ!!

主 催／兵庫県保険医協会 北摂・丹波支部

後 援／三田市・三田市教育委員会



主催：兵庫県保険医協会 北摂・丹波支部 お問い合わせは：TEL (078) 393-1807 三田・石本まで

FAX 078-393-1820 ※当日のご参加も可能ですが、定員もございますので、できるだけ事前にご連絡ください

映画「この世界の片隅に」上映会 参加申込書

地 域 [_____ 市] 医療機関名 [_____]

ご氏名 [_____] 参加人数 [_____ 人]

川柳

詠み人 おさむ

・若人が 運ぶよメダル

・中国の 日本まで

・我守る 核にミサイル

・制裁も ザルでしかない

・結果さえ 中国が

・結果と 政治家は

・一番の 立憲主義は

・我妻も 言うはずが無い

・嘘つきと 嘘なんて

・言ってるあなたに なすりつけ

・妻に友 国民よりも

・大事です

「診療報酬引上げ」「窓口負担軽減」を求める 医師 歯科医師 署名にご協力を!

来春に行われる次期診療報酬改定に際し、協会・全国保険医団体連合会(保団連)は、診療報酬引き上げ、患者窓口負担軽減を実現するために会員署名を集めています(右)。

この間、マイナス改定が繰り返された結果、医療機関の経営は、大変厳しい状況となり、満足なスタッフ体制もとれず、患者さんへの必要な医療提供にも支障をきたしています。

医療機関が適切な医療水準を提供できるよう、初・再診料をはじめとした診療報酬の引き上げは喫緊の課題です。また、現場の実態にあわない不合理の是正や、医療現場を混乱させないような十分な周知期間の設定も重要です。

また、会員署名では、診療報酬引き上げとともに、患者さんが安心して受診できるよう、窓口負担の軽減も求めています。

集まった署名は、役員が10月19日、11月16日に、厚労省や財務省など関係各機関、国会議員に提出する予定です。皆さまのご協力をお願いいたします。

用紙はFAXにてお届けしています。住所・医療機関名・氏名をご記入いただき(ゴム印でも結構です)、ファックス(078-393-1802)までご返信をお願いします。

内閣総理大臣 閣
厚生労働大臣 閣
財務大臣 閣
国会議員 各位
中央競馬委員各位

2017年 月吉日

診療報酬の引き上げと患者窓口負担の軽減を求める 医師・歯科医師要請署名

診療報酬のマイナス改定が2002年以降繰り返された結果、医療機関は疲弊し必要な医療提供に支障をきたしています。

一昨年の「医療経済実態」調査結果について厚生労働省は「一般診療所全体の償還率は、入院収入の有無に拘らず悪化している」と報告し、中国協の診療報酬委員も「人件費を非常に高く抑えて、医療機関は何とか経営をしている」と指摘しています。

初・再診料をはじめ、医療機関が患者さんに提供する医療水準を確保できるよう、医療従事者の技術に正当に評価するとともに、診療所や病院それぞれの医療施設の基盤強化のためにも診療報酬の引き上げは必要です。

また、全国保険医団体連合会が2015年に会員医療機関を対象に実施した調査では、回答した医療機関の約4割で患者さんの経済的理由による治療中断を経験していました。診療報酬の引き上げとともに、安心して受診できるように、患者窓口負担割合の軽減や高額療養費制度の患者負担限度額の引き下げなど、「患者窓口負担の軽減」が必要です。

私たち医師・歯科医師は、以下の事項を要望いたします。

記

- 一、国民に安全、安心で、必要な医療を提供するため、診療報酬を、診療料を中心に、医科・歯科とも10%以上引き上げること
- 一、新たな患者負担増の計画は中止し、患者窓口負担を軽減すること

以上

姓 名：
医療機関名：
氏 名：

印の一画